

ガーデンシティみしまの推進（中郷温水池公園整備事業、 ガーデンシティみしま花飾り事業）

アナ： 『市長が語る 2017 三島』 第8回の今日は、ガーデンシティみしま推進事業の中から「中郷温水池公園整備事業」と「ガーデンシティみしま花飾り事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： まず、「中郷温水池公園整備事業」について教えていただけますか。

市長： この中郷温水池は市民の憩いの場として皆さんに親しまれておりますが、元は源兵衛川の湧き水を稲作用水として利用するために、水を温める溜め池として昭和28年に整備されたものです。平成8年から平成10年にかけて多種多様な生物の生息地（ビオトープ）として再整備され、周囲には木々が植栽された気持ちの良い散策コースとなっています。

池の南端は、逆さ富士が美しく映る絶好のビューポイントとして知られており、平成18年度には「静岡県景観賞最優秀賞」を受賞しています。

市では、ウォーキングコースとして楽寿園を起点に源兵衛川や大溝川を經由して松毛川までの水辺景観ルートの整備を行う予定であり、この中郷温水池はコースの中継地点として、県の補助金を活用しながら平成27年度から29年度までの3箇年計画により、引き続き都市公園としての整備を進めております。

アナ： その公園整備の内容を詳しく教えていただけますか。

市長： 中郷温水池は既に水辺景観の特性を生かした公園の要素を持った整備がされていますので、大規模な工事は行わず、整備前に飲食施設があった北側部分と池の南端部分の整備を中心に進めております。

北側部分の整備につきましては、水辺景観ルートなどをウォーキングされてきた人が休憩できるオープンスペースの確保と公園内遊歩道の整備、そして、水と緑のシンボリックな草花を植栽し、散策される方に四季折々の風景を楽しんでいただきたいと考えています。

また、お体が不自由な方やご高齢の方などのため、駐車スペースやトイレの整備も予定しています。

池の南端の主な整備につきましては、水面に映る富士山のビューポイントとなるよう、芝生を張りベンチを設置して、ゆったりと休息できるスペースをつくらせていきたいと考えています。

アナ： この整備によって中郷温水池がリニューアルされ、ガーデンシティのシンボリックな公園となりますね。私も楽しみです。

次に「ガーデンシティみしま花飾り事業」についてお伺いします。

市長： 美しく品格のある街づくりを進める「ガーデンシティみしま」の取り組みにつきましては、これまでも多くの市民の皆様をはじめ自治会、NPO、企業の皆様と協働で進めているところです。そのシンボルロードとするため「大通りの花飾り事業」を平成23年度にスタートいたしました。平成26年度からは芝町通りにも「立体花飾り」の設置を行っており、四季を通して一年中花が咲き誇る、全国でも類を見ない中心市街地の街並み整備を進めているところです。

近年では、市民の皆様をはじめ市外から訪れた多くの方々からも「三島の街が明るく華やかできれいになった。」とお褒めの言葉をいただくようになり、また、観光客も大変増加してきています。

今年度は、市民の皆様との協働を更に進めるため、有識者による「オープンガーデン講座」を開講して、「ハンギングバスケット」や「コンテナガーデン」、更には「花壇デザイン学習会」といった各種講習会を充実してまいります。

三島市の取り組みのもう一つの大きな柱である「スマートウエルネス事業」の推進に伴いまして、最近では市民の皆様の健康に対する意識も高まり、市内のいたるところでウオーキングをされる姿が見受けられるようになりました。多くの皆様が楽しく歩ける美しい街並みづくりにもつながるものと考えております。

アナ： このようなガーデンシティの取り組みが進みますと、さらに多くの市民が三島の街をウオーキングされることでしょうかね。

市長： そうですね。

公園整備も花飾り事業も、ガーデンシティの推進だけではなくスマートウエルネスとの相乗効果が期待できますので、積極的に取り組み、市民の皆様の健康づくりにもつなげていきたいと考えております。

アナ： これからも、「美しく品格のあるまち」そして「“健幸”なまち」にふさわしい三島市となるような取り組みを期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。